

授業科目名	教育臨床学
科目番号	CB23061
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	春AB水1,2
担当教員	庄司 一子
授業概要	現代の教育における様ざまな問題—学校、子ども、児童、教師、家庭との連携などに関する問題—を理解し、児童への援助を可能にするため、教育臨床学に関連する基礎理論を概説する。具体的には、児童・生徒の発達の様相、その問題、発達のつまずきの理解、児童・生徒の成長と発達の援助の基礎について学ぶ。
備考	対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンストとの関係	教育学の基礎的体系的知識、教育学における総合的思考力
授業の到達目標（学修成果）	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の成長と発達における子ども、児童・生徒の発達の様相、および基本概念を理解できる。 ・学校教育段階の児童・生徒の心の働き、抱える問題の理解、教育上の指導・援助の基礎を身につけている。
授業計画	<p>現代の学校教育、社会における子どもという存在、人間の成長と発達における児童・生徒の発達の姿、発達の意味について概説する。その上で児童・生徒がかかえる問題 — 学校、子ども、教師、保護者に関する問題 — を理解し、援助法の基礎を学ぶため援助を可能にする発達と臨床の基礎理論を概説する。具体的には児童・生徒の発達の姿、子どもの問題・発達のつまずきの理解、指導・援助の基礎について学ぶ。</p> <p>授業は全21回実施する。予定は以下のとおり。</p> <p>第1回 オリエンテーション 教育臨床とは、子どもという存在</p> <p>第2回 人間の成長発達、生涯発達の中の児童期・青年期</p> <p>第3回 教育臨床に関する理論:カウンセリングの基礎</p> <p>第4回 教育臨床に関する理論:精神分析・分析心理学</p> <p>第5回 教育臨床に関する理論:クライアント中心療法</p> <p>第6回 教育臨床に関する理論:認知行動療法</p> <p>第7回 教育臨床に関する理論:予防教育</p> <p>第8回 児童・生徒が抱える問題の理解(1) 学校不応と学校環境</p> <p>第9回 児童・生徒が抱える問題の理解(2) 家族と家庭環境</p> <p>第10回 児童・生徒が抱える問題の理解(3) 不登校</p> <p><定期試験></p> <p>第11回 児童・生徒が抱える問題の理解(4) いじめ・人間関係</p> <p>第12回 児童・生徒が抱える問題の理解(5) 非行</p> <p>第13回 児童・生徒が抱える問題の理解(6) 虐待</p> <p>第14回 児童・生徒が抱える問題の理解(7) 発達障害</p> <p>第15回 児童への援助の理論と技法(1) 予防教育とグループアプローチの実際(1)</p> <p>第16回 児童への援助の理論と技法(2) グループアプローチの実際(2)</p> <p>第17回 児童への援助の理論と技法(3) SST(ソーシャルスキルトレーニング)</p> <p>第18回 児童への援助の理論と技法(4) SME(ストレスマネジメント教育)</p> <p>第19回 事例検討、集団討議</p>

授業計画	<p>第20回 授業まとめ</p> <p>第21回 <春学期 定期試験></p> <p>授業外における学習方法:教科書の内容理解、実習の授業の場合は事前準備が必要。</p>
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の出席状況、参加態度、提出物、試験成績を総合的に評価する。 ・ 【割合】出席状況(70%)は単位認定の前提条件である。その上で、試験の成績(70%)+提出物の提出状況・内容(20%)+出席点(10%)を加味する。 ・ 【評価基準】成績評価に基づき、上記の二つの到達目標に達したと判断される場合、合格(A+, A, B, C)のいずれかの評価となる。いずれの評価になるかは試験の成績、提出物の提出状況・内容、出席状況を総合的に評価する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	<p>学修時間の割り当て:講義(100%)</p> <p>学修外における学修方法:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定した教科書の各回毎の該当章を事前に読んでおくこと。 ・ 授業で配布した資料は次の回までに復習すること。次の回の冒頭で数分間の小レポートを課す。
教材・参考文献・配付資料等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「生徒指導とカウンセリング」 協同出版 2014年 2. 「事例から学ぶ 児童・生徒への指導と援助」 ナカニシヤ出版 2015年
オフィスアワー等(連絡先含む)	D315・木曜15:00~16:30
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	欠席の場合は特に措置はしない。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	人間の成長・発達, 児童期・青年期の発達と問題, 問題への援助